令和４年度　交通安全県民運動

夏の交通事故防止運動実施要領

運動の目的

夏季は、行楽等により交通の流れが変化することや、夏特有の解放感や暑さからの疲れ等による注意散漫が原因となる交通事故が予想される。

この運動は、県民一人ひとりが交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

運動の期間

令和４年７月１日（金）から７月２１日（木）までの２１日間

一斉行動日　７月１日（金）・１５日（金）

運動の重点

① 子供と高齢者の交通事故防止

② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

③ 飲酒運転の根絶

④ 過労・脇見運転の防止

令和３年度島根県交通安全協会主催
交通安全ポスターコンクール入賞作品
甲斐　みつはさんの作品
（出雲市立四絡小学校）

～しっかりと　まもるルールで　ねがう安全～

主唱 島根県交通安全対策協議会

推進事項

運動の重点	推　進　事　項
① 子供と高齢者の交通事故防止	○　子供・高齢者を見かけたときや通学路等ではスピードダウンを徹底し、思いやりのある運転を実践する。 ○　高齢運転者は、加齢に伴う身体機能への影響を自覚し、自分の運転能力に応じた慎重な運転に努める**「補償運転**[※1]**」**を実践する。 ○　７０歳以上の運転者は「高齢運転者マーク」を表示し、周囲のドライバーは、同マークを表示している車に対して幅寄せや割り込み等の運転をしない。 ○　加齢に伴う身体機能への影響を自覚し、自分の安全を確保する慎重な行動に努める**「補償歩行**[※1]**」**の励行など、高齢者に向けた安全教育及び広報啓発活動を実施する。 ○　家庭・地域では、道路横断時の安全確認の徹底など、事故に遭わない、事故を起こさないよう、交通安全の「声かけ」を励行する。 ○　早朝や夕暮れ時・夜間の外出時は、明るい服装に心がけ、反射材用品の活用と、懐中電灯の使用に努める。 ○　職場では、歩行者・自転車等への思いやり運転の励行を呼びかける。 ○　学校・家庭では「自転車安全利用五則」[※2]による自転車の安全利用の指導を徹底する。
② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底	○　「車に乗れば、まずシートベルト」を合言葉に、同乗者全員が正しくシートベルトを着用する。 ○　子供には体格に合ったチャイルドシートを正しく使用し、６歳以上でも体格によりシートベルトが着用できない時はジュニアシートを使用する。 ○　学校・家庭では、シートベルトやチャイルドシートの必要性や効果について理解させ、必ず着用するよう指導する。
③ 飲酒運転の根絶	○　「飲んだら乗るな」「乗るなら飲むな」「乗るなら飲ませるな」の３ない運動を徹底する。 ○　飲酒した翌日もアルコールの影響[※3]があることを認識し、家庭・職場ではアルコール検査器等を使用することで二日酔いでの飲酒運転を防止する。 ○　職場・家庭では、飲酒運転は悪質かつ危険な反社会的行為であることを周知するとともに、飲酒会合時には、ハンドルキーパー運動[※4]を実践し、飲酒運転を許さない環境作りを徹底する。
④ 過労・脇見運転の防止	○　レジャー等での長距離運転は、目的地までの交通状況の確認、運転前の体調管理、早めの休憩や運転交代など、余裕のある計画を立てる。 ○　前をよく見て運転に集中する。特に交差点や横断歩道付近では、減速又は徐行して歩行者や自転車の有無など安全確認を徹底する。 ○　脇見運転は、重大事故の原因となることを周知する。 ○　職場では、無理のない運行計画や十分な休養、運転前の体調確認など、安全運転管理に努めるほか、交通安全の「ひと声」を掛け合い、過労・脇見運転防止の気運を高め交通事故防止を徹底する。

※１　補償運転・補償歩行

危険を避けるため、外出する時と場所を選択し、十分な運転・歩行能力が発揮できるよう心身及び環境を整え、加齢に伴う運転技能・安全行動の低下を補うような運転方法・行動を採ることをいいます。

具体的に補償運転では

「余裕を持った運転計画をたてる」（運転準備）
「夜間や雨の日の運転を控える」（運転制限）
「後続車が迫って来たら脇によけて先に行かせる」（避難運転）
「ラジオなど聞かずに運転する」（運転集中）

などがあり、補償歩行では

「道路を横断するときは横断歩道を利用する。」
「明るい内に用事を済ませ、夜間の外出を控える。」
「夕暮れ時から夜間・日の出前の外出は必ず反射材を着用する。」
「横断中にも安全確認し、慌てずに横断する。」
「歩行者用信号が点滅したら、次に信号が青になるまで待つ。」

などがあります。

※２　自転車安全利用五則　（平成 19 年７月 10 日交通対策本部決定）

１　自転車は、車道が原則、歩道は例外
２　車道は左側を通行
３　歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
４　安全ルールを守る
　〇飲酒運転・二人乗り・並進の禁止　〇夜間はライトを点灯
　〇交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
５　子供はヘルメットを着用

万が一の事故への備えとして、ヘルメットの活用や自転車保険への加入を検討しましょう

※３　アルコールの影響

「酒は、ひと眠りすれば体から抜ける。」と勘違いしていませんか？

種類	ビール	焼酎	チューハイ	日本酒	ワイン	ウイスキー
数量	500 ml	100 ml	350 ml	180 ml	200 ml	60 ml
飲酒量の目安	中ジョッキ 1杯	コップ1杯（水割り5：5）	350ml缶 1本	1合	ワイングラス 2杯	ダブル 1杯

この数量で…

アルコールを分解するのに5時間以上かかります！！
２倍 飲めば10時間！
３倍 飲めば15時間!!

（注）　アルコールの分解速度は、年齢、性別、体格、体質等による個人差が大きく、ある研究によれば、速い人と遅い人の間には、2～3倍の差があるといわれています。

※４　ハンドルキーパー運動

仲間と飲食店などへ自動車で行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、飲酒後の仲間を自宅まで送るという飲酒運転を根絶するための運動です。

「しまね安全ドライブコンテスト 2022」参加者募集中！！～7月 10 日（日）まで
- 申込書は警察署、交通安全協会、市町村等にあります。
- 申込は、警察署や安全協会等の窓口で。自動車安全運転センターへの郵送でも申込めます。
- コンテスト実施期間は、7月 11 日（月）～12 月 31 日（土）までの 174 日間です。